

創学舎ニュース

Sougakusha News

No.421

結果はどうあれ、最善と思われ
る努力をしなければ今後の
人生が開けない。それは恐
ろしい人生になるよ。

(柳善一)

自分に自信を持ち他人と比
較することなく目の前の問
題に集中せよ。計画に沿って
学び続けるのだ。入試当日は
最後の科目が終わるまで絶
対に諦めるな。

(大場 健司)

寝言でイティオムが出てくる
くらい、シャープペンの先から煙
が出るくらいやっているよ。

(五口市 浩)

本番で不安な自分の支えになる
のは、「懸命に頑張っている今
現在の自分」です。

(長坂 浩之)

【苦手】なことは逃げても結
局やらねばならない。だから
逃げるのをやめて、振り返っ
て向き合おうじゃないよ。

(関野 光希子)

高校生活は人生で一度しかない大切な時間。
そんな時間を君が望む最高の場所ですごせ
たなら、それ以上幸せなことはないはずだ。
最後まで諦めずに頑張ろう！(中光 颯)

受験の選択肢に「合格」と
「不合格」の二択はありま
せん。「合格」か「諦める」
かの二択です。諦めない心
があれば、あなたを合格に
導きます。(村田 寛之)

今年は環境的には大変な
ことも多いですが、それは
みんな同じ。結局最後まで
しっかりと取り組むしか
ない。(松永 弘文)

自分を信じるのができ
なくなる時がある、誰だっ
て……。己の不甲斐なさに
とれただけうちのめされよ
うとも、心を燃やせ。

(松尾 裕史)

本番で迷ったときは、普段
やらない解法は使わない
こと。授業でやったことを
思い出して、平常心で臨ん
でください。そして、当日
の朝ごはんはおもちがお
すすめです。(神山 仁)

いま自分に出来ることを全
力で。地味で面倒臭いこと
を誠実に。最善の準備をし
て本番に臨もう！

(高寺 大介)

今までやってきたことを
信じて、自信をもって立ち
向かってきてください！

(富田 宏美)

明日ではなく今日やろう。
日々大切に丁寧に過ごそ
う。君の可能性は無限大。
最後まで挑み続けよう。

(末武 淳一)

受験まで残りわずか。ここ
での頑張りが本番での自信
に繋がります。試験中、解
答に迷いたくなかったら、
今、一生懸命に勉強に取り
組もう。(矢上 有一)

いよいよ入試の時期が近づ
いてきました。最後の最後
まで諦めなければ絶対に合
格！「必勝」を信じて、春
は桜満開になりますよう
に！(園部 圭)

受験は将来の可能性を広げ
るチャンスです。まだまだ時
間があります。焦らずに丁寧
に力をつけていきましょう。
応援しています。

(岡本 武)

今まで頑張ってきた自分を
最後まで信じて、力を出し
切り、人生で二度とない
「チャンス」を悔いのない
受験にしよう。緊張するの
は当たり前、試験が始まっ
たらまずは深呼吸！

(佐々木 洸介)

受験生でいられるのも残りあとわず
かです。だからこそ今この瞬間を大
切にしてください。受験生でいられ
ることの感謝を忘れずに、一緒に最
後まで駆け抜けていこう。

(櫻村 公太)

受験生になったとき、きみは、どう
いう結果を望んだか？もう一度思
い出せ。毎日思い出せ。二月をどう
いう気持ちで迎えたのか？よく考
えろ。毎日考えろ。そして、残され
た日々のことを一瞬の無駄もなく
大事に過ごせ。

(小林 健輔)

受験生への



メッセージ



まもなく受験本番です。今まで努力
し続けてきた自分に自信を持ち、楽
しんでください。吉報をお待ち
しております。(笠井 佳)

入試までに残された時間はまだま
だ十分にあります。
最後の最後まであきらめずに正し
い努力をしてください。

(村上 静馬)

泣いて笑ってドキドキして落ち込ん
で・・・こんな喜怒哀楽を全身で味わ
えるなんて最高に贅沢な人生体験。
全力で「生きる」ことを楽しんで下
さい！(石塚 正人)

私たちはみんなの頑張る姿を見てき
たから、頑張れました。私たちも
みんながなりたいたい自分に一歩でも近
づけるように、全力で祈っていま
す！頑張れ！(石崎 翔)

「受ければ必ず受かる」

これ受験の第一義なり。己の甘さを
断ち、日々修煉すれば、然る後、
自ずと不安に克つ。斯くのごとく
ば、いかなる困難に遭おうとも、豈
に恐るべけんや。必勝。(山崎 将之)

いよいよ本番まであと少し。志望校
合格、その目標達成に向けて努力を
重ねていると思います。受験まで残
された時間を大切に、全力で頑張
っていきましょう。

(比嘉 あかね)

全集中の呼吸！呼吸を整えると脳の
働きが活性化します。焦ったときこ
そ呼吸を整えて普段の実力を出し切
りましょう。笑顔で教室に帰って来
てくれることを祈っています。

(上田 悠介)

疾風に勁草を知る。
「コロナ禍」という困難な時代、受験とい
う試験、それを潜り抜ける中で、君は
君自身の真価を問え。

(片岡 秀樹)

混乱続きの社会の中、前向きに、ひ
たむぎに取り組んできた君たちは
本当にたくましい！
そんな君たちなら絶対に勝てる。本
番では君たちの力を大いに見せつ
けてきてくれ！

『勝つ・勝つ・勝つ！』(青木 隆一)

受験当日は脳が燃えてしま
います。チョコレートを持参し
休み時間に糖分を補給しまし
よう。効果絶大ですよ。

(澤田 秀樹)

不安になるのは今まで頑張っ
てきた証拠！頑張った自分をほめ
信じて全てをぶつけよう！！受験
前日は早めに寝てね。

(小澤 浩太)

家族への感謝の気持ち、家族と
の日々の時間を大切に。応援し
ています。

(小野 桃花)

「じつじつ」「大変」と感じるのは
頑張っている証拠!!『合格』の
一文字に向かってあと一息！今
まで学習してきたこと、そして、
何より努力し続けた自分を信じ
て！(新島 景子)

なすべきことにひたすら集中
!!実力は直前で驚くほど伸び
る!最後の最後までけっして
諦めないこと!!

(高橋 力)

山高み 雲井に見ゆる 桜花
心のゆきて 折らぬ日ぞなき
おもしろいものみよ
凡河内躬恒(古今和歌集より)
諸君が納得できる結果が
出せませう!!

(鮎澤 崇嗣)

体調にはくれぐれも気を付けて。
100%の状態を挑みましょう。

(上野 真宏)

集団知⑥

● 集団知⑤の続きである。

● 週刊誌・月刊誌を含めて、一日に本を一〜二冊読む生活が続いている。目的の一部をいえば世の中のことを知り、「どう生きていけばいいのか。何をすべきか。」の手がかりをつかむためである。そして今の大きな関心事の一つが、やはりコロナのことで、コロナについての正しい情報を集めることも目的である。その中で不安になることがあって、それは情報の片寄りでもある。新型コロナは、インフルエンザと同じで過剰に反応すべきではないと主張する本や夕刊紙もいくつかある。多分これを愛読する人は、その主張に慣らされて、新型コロナへの認識が固定されていく。他方で、過剰な反応ではないかと思われる紙面、誌面、そしてテレビ番組も少なくない。これも続けていくうちに、当人の認識として固定されていく。

● そして、もう一つは情報の解釈の差である。「三密を避ける」「うがい手洗い」「マスク着用」などは、小学生でも知っているほど定着はした。しかし、このわかりやすい行為でさえ十分に守られていないとはいえない。「三密を避ける」も「マスク着用」も実はひどい状況であり、特に飲食の場面ではぞつとする光景がくり返されている。街の飲食店では、マスクなしの対面でおしゃべりしている。高校のほうもつとひどいかもしれない。弁当の時間は野放しで向かいあつて話し声と笑い声が飛びかう。毎日。クラスターが発症して休校となった高校でも同じである。ついに二回目の休校となった高校もある。



● 教師も事の重要性にはおそらく気付いていない。大学受験についていうと、陽性になった高三生は受験できないのである。発症していない濃厚接触者は、公共交通機関は使えず、別室での受験となる。何より、千人近くの生徒がいれば何らかの疾病をもつ生徒が数人はいるはず。

ず。その生徒の抵抗力が弱ければ重大な結果に
なりかねない。担任は、養護の先生は何をして
いるのか。

● でもこれが集団知のなせる業である。続けよう。「手洗い」にしてもきちんとしている人は少ない。男性の方は、自宅外のトイレに行けばよく分かる。十人いたら手を洗わない人は十人中一〜二人はいる。他の人は洗うのだが、二、三秒指をぬらすだけの人が多い。十秒以上洗うのは二人くらいか。保護者の皆さんはどうですか？あなたのお子さんはちゃんとしつけられていますか？

● この手洗いの例も集団知の差によるものである。授業やその前後では目を光らせて生徒に注意を促すようにしているが、中には大胆にもマスクなしで大声でおしゃべりする者もいる。創学舎では許しません。食事は広い部屋で、横ならびで、黙々と食べることに専念。食べ終わったらすぐに勉強。分かりましたね。

(小林)

実は大切な受験日の盲点

● 年が明けると入試シーズンが始まる。受験の注意は別の記事で読んでもらうとして、そこに書いていないことを述べておきたい。

① 入試会場は暑すぎることが多い。座っているだけで汗ばむ程。だから、すぐ脱げるような服装で行くことは大事。大学受験生は、半そでになれるようにして行くこと。セーターは面倒なので、カーディガンを重ね着していくことをおすすめする。凍らしたペットボトルは必携。

② 高校入試で体育館を使うことがたまにあるがものすごく寒い。靴下を余分に持って行く。もう一枚重ね着できるように。ホッカイロをたくさん。

③ 高三生がうける共通テストは大学などの施設を借りて実施されるので、運営する職員の意識が低い。その試験によって、自分が務める大学の評判が左右される訳ではないからか？以下実

話。

(1) テスト中に監督者の女性がハイヒールで歩きまわり「カツ、カツ……」と靴音が響く。

(2) 監督者が、テスト中に特定の女生徒の前にならずと立って見つけている。生徒が困った顔でにらむと「ニコッ」と笑い返した。その日つけた科目の全ての時間。

(3) テスト中に窓越しに、廊下から同僚が話しかける。「今日どうする」「いつもの所でないじゃない？」「分った。あとでね。」

(4) 体調の悪い生徒がテスト中に吐いた。監督者は「きみ、大丈夫？」といったきり、吐瀉物はそのまま。生徒は口を拭いてテストを続ける。やがて吐瀉物の臭いは教室に広がる。国語のテストでした。

④ 時計を忘れたら大変な目に合う。教室にない。あつても遠くで見えないことも多い。

⑤ 友人と待ち合わせをして一緒に行くことにしたが、なかなか来ない。遅れそう。いらいらしているところに電話。「ゴメン！遅れそうだから、車で送ってもらっている。一人で行って……」。「絶交だ！」

⑥ 休み時間に無神経に話しかけてくる知り合い。気分が良くなるならいいけど、迷惑なことも。直前に見ておきたい問題をめくっていると、「ねえ、何か問題出して……分った。それ〇〇でしょ。ねえ、次も出して！」「あっち行って……」。

⑦ 休み時間に自慢する奴がいる。「どうだった？おれ、できたぜ。超カンタン。満点かもしれない。」「おれ、ここ落ちるはずねえよ。こんなところ落ちちゃったら人間やめるよ……」。「やめれば……」。

● こんな現実がひよつとしたらキミ達を待っているかもしれない。③のようなことは、めったにないが他は可能性がある。しっかりと心の準備をしておくことが大事。心配なことは、とにかく講師に相談すること。高三生は授業で作戦を授ける予定。ともかく、皆さんの健闘を心から祈ります。

(小林)

★大学受験・高校受験の当日の注意★

① 腕時計を忘れるな。

② 鉛筆、消しゴムはたくさん持っていけ。(中学生は定規・コンパスを忘れるな！)

③ トイレは早めに行く。
テスト直前に行つて混んでいたら？あきらめて我慢するのは最悪です。テスト開始に多少遅れても済ませるべき。我慢している状態では解けません。また、大学入試でトイレトーパーがなかったという事態がありました。ポケットティッシュは多めにポケットに入れておくこと。

④ あがつてしまったら、必ず作業する。
言葉で自分を落ち着かせようとしてもムリ。手をさすったり、体操したり、手をふったり、深呼吸をしたり、文房具の手入れをしたり。作業に集中することで落ち着きます。

⑤ はつたりに負けない。
「できたぞ。」「やさしかったよな。」「おれ満点かも。」と大きな声で周りを威圧する人がいます。無視。流されてはいけません。

⑥ 傾向が変わったら大チャンス。
みんなビビります。当然、あなたもビビります。大事なのは、その先。みんなビビって頭の中が真っ白のはず。だから、「みんな点は伸びないぞ。自分は落ち着いて、とれる所を確実に解いて、合格に近づこう。」と考えるのです。おぼえておいてね。

⑦ 保冷剤は役に立ちます。
頭がポツと冷えたとき、休み時間に、首やほっぺにあてるとすつきりします。

⑧ 三教科あれば一教科、五教科あれば一教科や二教科失敗するのは当たり前。
* 一教科失敗↓引きずって失敗×
* 一教科失敗↓気持を整えていつも通り〇
どちらがいいか分かりませんが、失敗したことをひきずらないで、他の教科をきちんとやれば合格に近づきます。

⑨ 昼食後、眠くなる人は、食べるものを工夫する。
給食のあとの五時間目に眠くなる人は、テストのときも同じことになります。昼食をゼリー・プリン・みかんなどにかえると、かなりよくなります。これも模試のときから練習すること。

⑩ 会場は暑すぎたり寒すぎたりすることがある。
暑いときは上着など脱げるように、また寒いときはカーディガンを着たり携帯カイロを使ったりできるように準備して行くこと。

⑪ 残された模試の回数は少ないと思いますが、模試のときも必ず右のことを読んで、覚え込んで行くこと。
本番に備えての練習です。